

外来植物駆除活動

経過報告と 平成27年度の計画



2015年2月21日 流域意見交換会
流域ネット猪名川 中島賢治



1. 外来植物駆除活動のきっかけ 東久代河原再生工事後のオギ原の再生 外来植物対策 (2010/8/)



あっという間に3mを超える高さに成長し
フェンスとなったオオブタクサの茂み
(外来植物駆除活動のきっかけとなる)



2. 駆除活動の目的

繁殖力旺盛で一面を覆いつくし、在来種の
生育場所を奪う影響大の外来植物の除去
植物・昆虫・鳥・動物のつながり、バランス



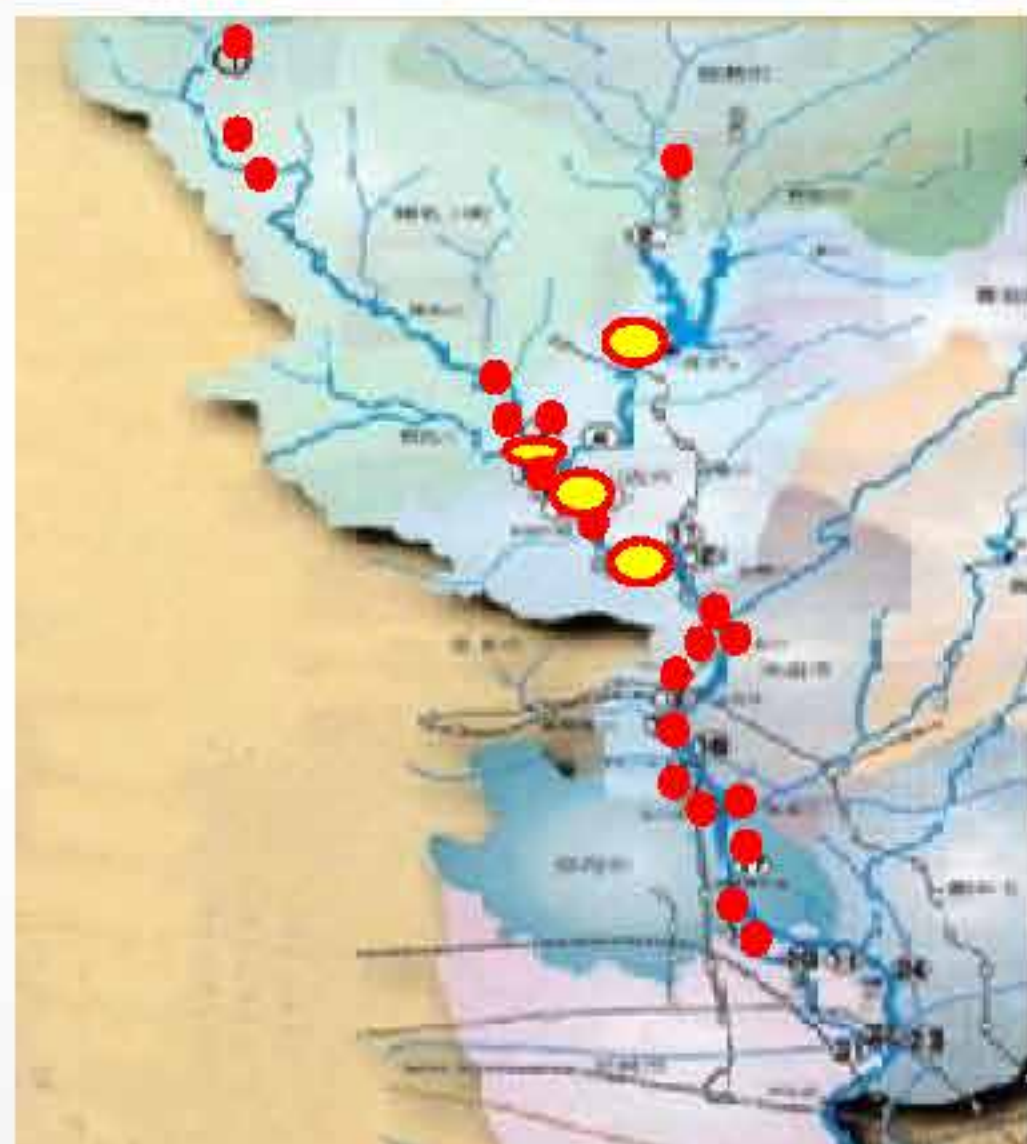
光をさえぎるアレチウリを取り除くと、
その下には何も生えていなかった
2012年10月11日 呉服橋下流左岸

3. 外来植物駆除活動の経過

流域ネット猪名川の例

- ①2010年、オギ原再生をめざし「アレチウリ、オオブタクサ・アレチハナガサ」を駆除対象外来植物として、作業開始。
- ②2010年～2014年、猪名川上流から軍行橋付近までの流域で、見つけ次第駆除実施。
- ③2014年、経験から外来植物の繁茂が見られる28ヶ所を決め、定期的に観察・駆除。

4. 猪名川流域の観察点



繁茂地

5 猪名川流域での外来植物駆除活動

表1 猪名川流域での外来植物駆除活動 (期間: 2014/7/1~12/2) [一] 駆除回数 (回)

No	場 所	駆除・観察回数	延人数 作業時間	アレチウリ	オオブタクサ	アレチハナガサ
1	一庫ダム	2	18人/37H	無し	無し	無し
2	一庫ダム出合地区	5	18人/24H	期間を通して繁茂	無し	無し
3	エドヒガン大木付近	6	22人/19.5H	無し	無し	無し
4	やわらぎの里入口	3	13/10.5	無し	無し	無し
5	こんにやく橋	4	9人/7H	無し	無し	有
6
7
8
9
10
11
12
13
14	エドヒガン大木付近	6	22人/19.5H	期間を通して繁茂。収集処理に困る。	無し	無し
15	やわらぎの里入口	3	13/10.5	期間を通して繁茂小 12月小3 1m2本	無し	無し
17	こんにやく橋	4	9人/7H	気づくの遅し、9月花盛り結実。袋入れできず。取りあえず抜く。	7月駆除川西再発見	有
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28

5. 猪名川流域での外来植物駆除活動

(期間は214/7/1~12/2 抜粋)

No	場 所	駆除・観察回数	延人数 作業時間	アレチウリ	オオブタクサ	アレチハナガサ
2	一庫ダム出合地区	5	18人/37H	期間を通して繁茂大	無	無
14	エドヒガン大木付近	6	22人/19.5H	期間を通して繁茂大。収集処理に困る。	無	無
15	やわらぎの里入口	3	13/10.5	期間を通して繁茂小 12月小3 1m2本	無	無
17	こんにやく橋	4	9人/7H	気づくの遅し、9月花盛り結実。袋入れできず。取りあえず抜く。	7月駆除川西再発見	有

一庫ダム出合地区

(2014/8/21 広範囲に繁茂。駆除困難場所有)



一庫ダム出合地区

(2014/12/2)



エドヒガン大木付近

(2014/7/1)



エドヒガン大木付近

(2014/8/19 一か月後には再び繁茂)



エドヒガン大木付近

(2014/12/2 小5本抜く)



やわらぎの里入口

(2014/7/1 急な崖の下は抜けず)



やわらぎの里入口

(2014/12/2 繁茂地になりそう)



中園橋 (2014/6/23)



2013/8/4
自然と文化の森協会他対策。
2014年度は減った。

6. 現状の問題点

- ① 外来植物の問題点、駆除の必要性が共有されておらず流域住民・流域自治体の関心は低い
- ② 対策に取り組む団体間の交流・連携した取組が不十分のため、取り残しが発生

7. 今後に向けて

侵略的外来植物の問題点と駆除の必要性について
広く知ってもらい、生物多様のある猪名川流域を
実現するとともに、その持続可能性を確保する。

- ① 各自治体の「生物多様性戦略実施」への働きかけ
～「生物多様ふるさと川西戦略」への積極的参画～
- ② 流域全体での駆除活動の連携（情報交換と協力）
～早期発見と駆除を5月頃から定期的に～
- ③ 小・中学校での体験学習への組み込み
～侵略的外来植物駆除活動の理解者の裾野拡張～

